

平成 28 年度事業報告書

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

1. 概要

平成 28 年 2 月 5 日開催の第 17 回理事会で決議された平成 28 年度(平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月)事業計画に基づき、バイオサイエンス分野の研究者に対する研究助成、国際交流助成、及び学会等開催助成などの諸事業を予定どおり実施した。

2. 年間の経緯 (平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月)

平成 28 年

- 4 月 14 日 会計・業務監査
- 4 月 16 日 公益財団法人移行 5 周年記念行事(大村智博士講演会)
(於: 東京大学伊藤謝恩ホール)
- 5 月 11 日 第 18 回理事会(決議省略による方法)文書発信。決議日 5 月 18 日
- 6 月 10 日 第 9 回評議員会 (於: 如水会館)
第 19 回理事会 (於: 如水会館)
- 6 月 14 日 平成 27 年度事業報告及び決算書類提出(内閣府、電子申請)
- 6 月 21 日 平成 27 年度事業報告及び決算書類 修正書の届出
- 7 月 1 日 第 28 回国際交流助成(下期)募集開始(8 月 31 日締切)
第 28 回研究助成募集開始(9 月 30 日締切)
- 7 月 31 日 財団年報第 17 号(平成 27 年度)刊行
- 10 月 12 日 第 7 回研究助成報告交流会 (於: 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター)
- 11 月 1 日 第 28 回学会等開催助成募集開始(11 月 30 日締切)
- 12 月 28 日 第 28 回研究助成選考委員会、第 28 回学会等開催助成選考会
(於: 如水会館)

平成 29 年

- 1 月 4 日 第 29 回国際交流助成(上期)募集開始(2 月 28 日締切)
- 2 月 3 日 第 20 回理事会 (於: KKR ホテル東京)
- 2 月 6 日 第 10 回評議員会(決議省略による方法)文書発信。決議日 2 月 13 日
- 2 月 13 日 第 21 回理事会(決議省略による方法)文書発信。決議日 2 月 22 日
- 2 月 20 日 平成 29 年度事業計画書及び収支予算書提出 (内閣府、電子申請)
- 2 月 21 日 役員変更届提出 (内閣府、電子申請)
- 2 月 21 日 役員変更届 提出修正書の届出
- 3 月 3 日 第 28 回研究助成贈呈式 (於: 如水会館)
- 3 月 8 日 役員変更届提出 (内閣府、電子申請)
- 3 月 27 日 第 29 回国際交流助成(上期)選考会 (於: 東京大学)

3. 事業

(1) 助成事業

平成 28 年度助成事業のまとめ（平成 27 年度対比）

事業名	応募件数		助成件数		採択率(%)		予算(万円)		実績(万円)	
	H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28	H27
研究助成	205	207	28	28	13.7	13.5	5,900	5,900	5,900	5,900
メカトロニクス	137	139	18	18	13.1	12.9	3,600	3,600	3,800	3,800
ハイテクノロジー	68	68	10	10	14.7	14.7	2,300	2,300	2,100	2,100
国際交流助成	112	102	35	35	31.3	34.3	860	860	845.2	855
上期	69	46	18	16	26.1	34.8	430	430	431.3	440
下期	43	56	17	19	39.5	33.9	430	430	413.9	415
学会等開催助成	45	63	15	19	33.3	30.2	390	390	400	500

1) 研究助成（300 万円、3 名。200 万円、25 名。合計 28 名。総額 5,900 万円。）

7 月初めから 9 月末まで募集した結果、2 つの募集区分に対して前年度とほぼ同数の 205 件の応募があった。選考委員会答申に基づく理事会審議を経て、全 28 件の研究助成(うち、優秀賞 3 件)を行なった。採択率は前年度とほぼ同じ約 13.7%となった。

なお平成 26 年度からの 5 年間に限り、財団設立 25 周年として優秀賞 300 万円 3 件相当分(900 万円)を増額している。

助成者名簿を別紙に示す。

2) 国際交流助成（地域により 1 件 10 万円から 30 万円、35 名。総額 845 万 1688 円。）

上期は、1 月上旬から 2 月末まで募集した結果、69 件の応募があった。正副選考委員長による選考会答申に基づく理事長決裁により、18 件の助成を行なった。

下期は、7 月初めから 8 月末まで募集した結果、43 件の応募があった。上期と同様の選考及び決裁により、17 件の助成を行なった。

なお上期下期合わせて 3 件、実際の経費が助成額を下回ったこと等を理由に、助成者から減額助成の申し出があった。そのため助成額は上期 431 万 2792 円、下期 413 万 8896 円となり、年間合計予算 860 万円に対し、実績 845 万 1688 円となった。

助成者名簿を別紙に示す。

3) 学会等開催助成（30 万円、10 件。20 万円、5 件。総額 400 万円。）

11 月の一ヶ月間募集したところ、前年度の 63 件に対して 45 件の応募があった。前年度は予算に対し

て応募数が多かったことから、今年度は積極的な広報を控えた。これが応募数減少の原因と考えている。

正副選考委員長による選考会答申に基づく理事会審議を経て、13 件各 30 万円の予定に対し、30 万円 10 件、20 万円 5 件の合計 400 万円 15 件の助成を行った。今期から海外で開催される学会についても、一定の基準を満たせば助成を認めることとしており、該当する助成 1 件を含んでいる。なお予算に対して競争率が 3 倍を超したことから、国際交流助成の今年度の剰余金から 10 万円を加えて総額 400 万円の助成とし、また一部の学会は減額することにより助成数を予算 13 件に対して 2 件増やした。

助成団体名簿を別紙に示す。

(2) 財団設立 25 周年記念事業

平成 26 年度から 5 年計画で、個人からの寄附を原資に助成金の増額を行っている。今年度は事前の計画に従い、研究助成 900 万円、国際交流助成 110 万円、学会開催助成 90 万円の助成金増額を実施した。

(3) 大村博士講演会

当財団設立時より理事、評議員を歴任し、現在名誉理事である北里大学特別栄誉教授 大村智先生の 2015 年度ノーベル生理学・医学賞受賞を記念し、大村先生による高校生向けの講演会を開催した。約 350 名の高校生中心の一般公募参加者に対し、幼少時代から高校時代の思い出、スポーツから学んだこと、研究生活に入った経緯、天然物有機化学に対する貢献例、ノーベル賞受賞に繋がったエバーメクチンの研究と国際貢献等について、予定の 50 分を超す講演が行われた。また最後には生徒からの質問に対してお答えいただいた。研究の醍醐味だけではなく、先生のお人柄にも触れることができ、参加した高校生にとって一生の宝物になった。

事業名	大村智博士講演会 次世代を担う高校生に向けて
演題	私の研究と国際貢献
演者	北里大学特別栄誉教授、加藤記念財団名誉理事 大村智
日時	平成 28 年 4 月 16 日(土) 15:00~16:15
場所	東京大学 伊藤謝恩ホール
主催	(公財)加藤記念バイオサイエンス振興財団
後援	東京都教育委員会、東京私立中学高等学校協会、日本農芸化学会
参加者	高校生等約 350 名

(4) 第 7 回研究助成報告交流会

平成 28 年 10 月 12 日(水)に御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンターにおいて公開で開催した。第 25 回(平成 25 年度)の助成者 25 名中 23 名による口頭発表が行われ、財団役員・選考委員・外部関係者等約 55 名が参加し活発な質疑応答が行われた。報告会の後は会場を移して交流会を開催し、助成者や参

加者間の情報交換等を行った。

(5) 第 28 回研究助成贈呈式

本年度の研究助成贈呈式を平成 29 年 3 月 3 日に如水会館にて開催した。理事長挨拶、選考委員長による選考経過報告の後、優秀賞 3 名を含む研究助成受領者全 28 名に対し、理事長より助成金目録及び記念盾が贈呈された。なお、優秀賞には副賞として記念品(ペーパーウェイト)も贈呈した。その後、協和発酵キリン株式会社・花井陳雄社長より来賓祝辞をいただいた。

引き続き、今年度新たに就任した 2 名の選考委員による特別講演が行なわれた。

1) 国立循環器病研究センター研究所 副所長 望月 直樹

「視ることで探る生命科学は飽きることがない」

2) 東北大学大学院生命科学研究所 教授 杉本 亜砂子

「線虫は進化細胞生物学のモデル系となりうるか？」

式典終了後、会場を移してポスターセッション形式で助成受領者による研究計画発表会を行い、引き続き祝賀会を行った。参加者は助成受領者含めて約 70 名であった。

(6) 年報の発行

平成 28 年 7 月 31 日付けで平成 27 年度年報(第 17 号)を 400 部作成し、関係者へ配布した。以前から財団ホームページでも年報を閲覧できるようにしているが、今回から従来の冊子体配布先の一部を Web 閲覧案内に切り替えた。ホームページ上での研究助成報告書は概要のみの掲載とし、国際交流助成の報告書は掲載していない。

(7) パンフレット更新

今年度の財団紹介パンフレットは 650 部印刷し関係各所に配布した。また、ホームページで PDF 版を公開した。

4. 理事会

定例理事会 2 回と臨時理事会 2 回を下記のとおり開催し、各理事会の議案は全て承認された。

(1) 第 18 回理事会(定例／決議の省略による方法)

理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

提案者 理事 松田 譲

決議日 平成 28 年 5 月 18 日(水)

議事録作成者	理事 秋永士朗
同意書	理事 9 名全員、監事 2 名全員(異議ないことを証する書類)
審議事項	①平成 27 年度(平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月)事業報告及び収支決算報告の件 ②第 9 回評議員会の開催内容

(2) 第 19 回理事会(臨時)

日程	平成 28 年 6 月 10 日(金)
場所	如水会館
出席者	理事 8 名、監事 2 名、事務局長
主な議題	報告事項 ①第 9 回評議員会審議事項 ②第 18 回理事会報告事項の確認 審議事項 ①代表理事及び業務執行理事の選任 ②「名誉理事」称号の贈呈

(3) 第 20 回理事会(定例)

日程	平成 29 年 2 月 3 日(金)
場所	KKR ホテル東京
出席者	理事 9 名、監事 2 名、事務局長
主な議題	報告事項 ①第 28 回国際交流助成(下期)助成者 ②平成 27 年度年報(第 17 号)発行 ③第 7 回研究助成報告交流会 ④基本財産の運用 ⑤代表理事及び業務執行理事の職務執行状況 ⑥事務局トピックス ⑦今後のスケジュール、その他 審議事項 ①第 28 回研究助成受領者の選出 ②第 28 回学会等開催助成対象団体の選出 ③平成 29～32 年度選考委員の選出 ④第 10 回評議員会の開催について ⑤平成 29 年度事業計画案 ⑥平成 29 年度収支予算案

(4) 第 21 回理事会(臨時／決議の省略による方法)

理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

提案者 理事 松田譲

決議日 平成 29 年 2 月 22 日(水)

議事録作成者 理事 秋永士朗

同意書 理事 10 名全員、監事 2 名全員(異議ないことを証する書類)

審議事項 ①常務理事(業務執行理事)の選任について
②「外部有識者等の報酬等に関する細則」の制定について

5. 評議員会

定例評議員会 1 回と臨時評議員会 1 回を下記のとおり開催し、全議案は承認された。

(1) 第 9 回評議員会(定例)

日程 平成 28 年 6 月 10 日(金)

場所 如水会館

出席者 評議員 7 名、監事 2 名、理事長、常務理事、事務局長

主な議題 報告事項

①平成 28 年度事業計画及び収支予算

②第 16 回理事会報告事項

③第 16 回理事会決議事項

④第 17 回理事会報告事項

⑤第 17 回理事会決議事項

⑥第 18 回理事会報告事項

⑦第 18 回理事会決議事項

審議事項

①平成 27 年度(平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月)事業報告及び収支決算報告

②理事の選任

③監事の選任

④評議員の選任

(2) 第 10 回評議員会(臨時／決議の省略による方法)

評議員会の決議があったものとみなされた事項の内容

提案者 理事 松田譲

決議日 平成 29 年 2 月 13 日(月)

議事録作成者	理事 秋永士朗
同意書	評議員 9 名全員、監事 2 名全員(異議ないことを証する書類)
審議事項	①理事の選任について ②役員及び評議員の報酬等に関する細則の改定について ②外部有識者等の報酬等に関する規程の制定について

6. 管理業務

(1) 寄附金受入

平成 28 年 4 月、協和発酵キリン株式会社より平成 28 年度運用財産(事業費及び管理費)として 7,200 万円の寄附を受領した。

平成 28 年 7 月、清水哲氏より平成 28 年度運用財産(事業費)として 1 万円の寄附を受領した。

(2) ホームページの改訂

各助成対象者について、歴代助成者名簿と共にホームページで公開した。

また財団年報ならびにパンフレットをホームページに掲載した。印刷版の年報には研究助成報告書の全文ならびに国際交流助成の学会参加報告書に掲載し、ホームページでは研究助成報告書は 400 字程度の概要のみの掲載とし、学会参加報告書は掲載していない。

財団理事・評議員 9 名から「若手研究者へのメッセージ」と題して、自身の経験や研究に対する思いなどを書いていただきホームページ上で公開している。

(3) 研究助成の広報

下記の専門誌に研究助成等の広告を行った。

「実験医学」 Vol. 34 No.11 (7 月号) 2016 羊土社

さらに 3 大学の研究助成担当部署を訪問し、意見交換と広報に努めた。また 8 月に都内で開催された JST フェアと、10 月に横浜で開催された BioJapan の会場において、30 近くの大学等に対して広報を行った。また公募時には 350 近い大学や公的研究機関に対し、メールにて案内を行った。

これらの広報の成果もあり、平成 28 年度の研究助成には前年度並みの 200 件を超す応募があった。

(4) 債券等情報の収集と検討

基本財産の運用管理のため、証券会社 6 社から不定期に情報を収集するとともに、他財団の資産運用の実態把握を行った。また債券買い付け時には証券会社と密に意見交換を行い、運用する債券の絞り込みを行った。

7. 人の異動

(1) 理事（敬称略）

郷通子 退任(平成 28 年 6 月 10 日付)

佐々義子 就任(平成 28 年 6 月 10 日付)

秋永士朗 退任(平成 29 年 3 月 3 日付)

山下順範 就任(平成 29 年 2 月 13 日付)

山下氏は平成 29 年 3 月 4 日付で常務理事(業務執行理事)に就任

(2) 評議員（敬称略）

大塚榮子 退任(平成 28 年 6 月 10 日付)

宮園浩平 就任(平成 28 年 6 月 10 日付)

吉田稔 就任(平成 28 年 6 月 10 日付)

(3) 選考委員（敬称略）

平成 28 年度選考委員のうち下記 5 名が任期満了により退任(平成 29 年 3 月 31 日付)

田中栄、阿部敬悦、小川佳宏、濡木理、渡邊秀典。

(参考)平成 29 年度選考委員として、第 20 回理事会で承認された下記 4 名が平成 29 年 4 月 1 日付で就任。

南学正臣、高山誠司、仁科博史、野尻秀昭。

合わせて平成 29 年 4 月 1 日付で副委員長の東原和成氏が委員長に就任。南学正臣氏が副委員長に就任。

(別紙) 第28回 加藤記念研究助成 メディカルサイエンス分野 助成者リスト
200万円/2年間(優秀賞:300万円/2年間)

	氏名	所属	職名	研究題目
1*	白石 充典	九州大学 大学院薬学研究院 蛋白質創薬学分野	助教	GPCR 作動機構の原子レベルでの解明—高親和性型ヒスタミン受容体の構造解析から
2*	森田 大輔	京都大学 ウイルス研究所 細胞制御研究分野	助教	「リポペプチド」免疫の学術基盤構築
3	鮎川 友紀	秋田大学大学院医学系研究科 細胞生物学講座	助教	細胞外マトリックスを介した PCP 制御機構の解明
4	伊沢 久未	順天堂大学大学院医学研究科 アトピー疾患研究センター	助教	活性化型受容体が認識する真菌構成脂質の同定と生理的意義の解明
5	上田 潤	旭川医科大学 教育研究推進センター	准教授	精巢特異的ヒストンバリエント H3t の減数分裂進行過程での役割解明
6	上野 将紀	新潟大学 脳研究所 システム脳病態学	特任教授	脳障害による運動神経回路の変容と動作原理の解明
7	生沼 泉	兵庫県立大学生命理学研究科 細胞機能学講座	教授	分化後神経細胞における遺伝子置換技術の開発
8	岡谷(永井)千晶	産業技術総合研究所 創薬基盤研究部門 糖鎖技術研究グループ	研究員	拡張型心筋症に関連する糖鎖変化の同定と新規血液マーカーへの応用
9	小野 大輔	名古屋大学 環境医学研究所 神経系分野Ⅱ	特任助教	革新的光イメージングと1細胞光操作法を用いた睡眠創薬研究への展開
10	島田 幹男	東京工業大学 科学技術創成研究院 先導原子力研究所	助教	DNA リン酸化脱リン酸化酵素 PNKP の DNA 複製における分子機構の解析
11	鈴木 元治郎	東京都医学総合研究所 認知症高次脳機能研究分野 認知症プロジェクト	主席研究員	神経変性疾患原因タンパク質のプリオン様伝播の制御因子の同定と解析
12	鈴木 志穂	東京医科歯科大学 大学院 医歯学総合研究科 細菌感染制御学分野	助教	インフラマソーム制御因子を標的とした新規免疫賦活剤開発のための 基礎研究
13	平安 恒幸	大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 免疫化学研究室	特任助教	病原微生物による免疫逃避を検出する宿主免疫システムの解明
14	北條 宏徳	東京大学大学院工学系研究科 バイオエンジニアリング専攻	特任研究員	転写因子 Runx2 を中心とする in vivo 骨形成ネットワークの解明
15	正本 庸介	東京大学 医学部附属病院 輸血部	助教	骨髄性腫瘍における難治性関連遺伝子 ASXL1 の機能解明
16	丸山 剛	北海道大学 遺伝子病制御研究所 分子腫瘍分野	助教	微小核からの細胞競合制御シグナルの解明
17	宮脇 寛行	大阪市立大学 大学院医学研究科 神経生理学教室	特任講師	中枢神経系における「サイレント・マジョリティ」が情報表現に果たす役割の解析
18	森田 英明	国立成育医療研究センター 研究所 免疫アレルギー・感染研究部 アレルギー研究室	室長	プロテアーゼ誘導性皮膚炎のメカニズム解析

(*) 優秀賞受賞者

第28回 加藤記念研究助成 バイオテクノロジー一分野 助成者リスト

200万円/2年間(優秀賞:300万円/2年間)

	氏名	所属	職名	研究題目
1 *	津釜 大侑	北海道大学 大学院農学研究院 生物資源科学分野 作物生理学研究室	助教	VIP1 を中心とした植物の機械刺激応答制御因子の統合的解析
2	伊藤 瑛海	国際基督教大学 アーツ・サイエンス学科 自然科学デパートメント	特任 助教	膜交通制御因子の機能改変による高機能作物の生産
3	大石 真也	京都大学 大学院薬学研究所 ケモゲノミクス・薬品有機製 造学分野	准教授	化学合成タンパク質を利用した天然物の鏡像体からの医薬品探索
4	鈴木 七緒	千葉大学 大学院理学研究科 基盤理学専攻	特任 研究員	統計熱力学計算法を用いた耐熱化セロトニン2A受容体の作製と構造解析
5	竹内 未紀	名古屋大学 生物機能開発利用研究センター 動物器官機能研究分野	博士 研究員	Fat カドヘリンによる軸索形成メカニズムの解析
6	竹下 大二郎	産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門 分子複合医薬研究グループ	主任 研究員	ウイルス RNA による翻訳制御因子の活性化機構の解明
7	野口 吉彦	北里大学 北里生命科学研究所 天然物創薬推進プロジェクト 生物有機化学研究室	特任 助教	顧みられない熱帯病；アフリカ睡眠病治療薬創製を指向した12員環マクロライド類の合成
8	松島 綾美	九州大学 大学院理学研究院 化学部門 構造機能生化学研究室	准教授	ドパミンニューロンの分化誘導核内受容体 Nurr1 の制御分子を用いたパーキンソン病改善薬の創製
9	安田 佳織	富山県立大学 工学部 医薬品工学科	助教	ビタミンDレセプター遺伝子変異に起因する骨疾患治療薬の開発
10	横川 真梨子	慶應義塾大学 薬学部 生命機能物理学講座	助教	脂質による膜蛋白質の機能調節機構の溶液 NMR 解析手法の開発

(*)優秀賞受賞者

(2)第28回(平成28年度)国際交流助成

1)第28回国際交流助成(上期)(18名)

番号	申請者氏名	所属機関	職名	学会名	開催場所	開催期間
1	田中 健一郎	武蔵野大学 薬学部	専任講師	ATS 2016 International Conference	米国	05/13 ～ 05/18
2	久永 哲也	奈良先端科学技術大 学院大学院 バイオサイエンス研 究科	博士 研究員	EMBO Workshop New model systems for early land plant evolution	オーストリア	06/22 ～ 06/24
3	金 ナレ	京都大学大学院 農学研究科	大学院生	18th International Congress on Animal Reproduction	フランス	06/26 ～ 06/30
4	平島 剛志	京都大学 再生医科学研究所	特定助教	Mechanobiology from molecules to tissue	ベトナム	06/26 ～ 07/02
5	石川 智愛	東京大学大学院 薬学系研究科	大学院生	10th FENS Forum of Neuroscience	デンマーク	07/02 ～ 07/06
6	山本 英明	東北大学 学際科学フロンティ ア研究所	助教	10th FENS Forum of Neuroscience	デンマーク	07/02 ～ 07/06
7	竹内 絵理	東海大学 創造科学技術研究機 構	特定 研究員	10th FENS Forum of Neuroscience	デンマーク	07/02 ～ 07/06
8	三浦 千裕	鳥取大学 農学部	プロジ ェクト 研究員	2016 International Society for Molecular Plant-Microbe Interactions XVII Congress	米国	07/17 ～ 07/21
9	陳 碩	理化学研究所 脳科学総合研究セン ター	研究員	Gordon Research Conference: Optogenetic Approaches to Understanding Neural Circuits & Behavior	米国	07/17 ～ 07/22
10	原 裕貴	山口大学大学院 医学系研究科	助教	12th International Congress of Cell Biology	チェコ	07/21 ～ 07/25
11	稲葉 理美	京都府立大学大学院 生命環境科学研究科	大学院生	16th International Confederation for Thermal Analysis and Calorimetry (ICTAC 2016)	米国	08/15 ～ 08/19
12	中司 寛子	慶応義塾大学 医学部	学振 特別 研究員	International Congress of Immunology	オーストラリア	08/21 ～ 08/26
13	有馬 康伸	北海道大学 遺伝子病制御研究所	助教	International Congress of Immunology	オーストラリア	08/21 ～ 08/26
14	齋藤 雅子	徳島大学大学院 医歯薬学研究部	助教	International Congress of Immunology	オーストラリア	08/21 ～ 08/26
15	本郷 峻	京都大学大学院 理学研究科	大学院生	Joint meeting of the International Primatological Society and the American Society of Primatologists	米国	08/21 ～ 08/27
16	金沢 貴憲	東京薬科大学 薬学部	助教	Drug Discovery & Therapy World Congress 2016	米国	08/22 ～ 08/25
17	藤原 亮一	北里大学 薬学部	講師	76th FIP World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 2016	アルゼンチン	08/28 ～ 09/01
18	山元 孝佳	東京大学大学院 理学系研究科	特任 研究員	16th International Xenopus Conference	ギリシャ	08/28 ～ 09/01

2) 第 28 回国際交流助成(下期)(17 名)

番号	氏名	所属機関	職名	学会名	開催場所	開催期間
1	小島 慧一	京都大学理学研究科	学振特別 研究員	17th International Conference on Retinal Proteins	ドイツ	10/02～ 10/07
2	中村 隼明	基礎生物学研究所	学振特別 研究員	Cold Spring Harbor Laboratory Meeting on Germ Cells	米国	10/04～ 10/08
3	藤井 聡志	神奈川科学技術アカ デミー	研究員	MicroTAS 2016	アイルランド	10/09～ 10/13
4	矢菅 浩規	慶應義塾大学大学院 理工学研究科	大学院生	MicroTAS 2016	アイルランド	10/09～ 10/13
5	中山 寛尚	愛媛大学プロテオサ イエンスセンター	助教	19th International Vascular Biology Meeting	米国	10/30～ 11/03
6	北岡 祐	東京大学総合文化研 究科	助教	The Integrative Biology of Exercise VII	米国	11/02～ 11/04
7	濱中 耕平	国立精神・神経医療研 究センター	科研費 研究員	2016 FSH Society International Research Consortium Workshop	米国	11/10～ 11/11
8	池田 義人	滋賀医科大学医学部 附属病院	特任助教	The Liver Meeting 2016	米国	11/11～ 11/15
9	長内 尚之	北海道大学大学院情 報科学研究科	大学院生	Neuroscience 2016	米国	11/12～ 11/16
10	磯江 泰子	岡山大学自然科学研 究科	特別契 約職員 助教	Neuroscience 2016	米国	11/12～ 11/16
11	石井 正将	熊本大学大学院生命 科学研究部	大学院生	AHA Scientific Sessions 2016	米国	11/12～ 11/16
12	石本 遊	東京大学大学院医学 系研究科	病院 診療医	American Society of Nephrology Annual Meeting 2016	米国	11/15～ 11/20
13	夏目 やよい	医薬基盤・健康・栄養 研究所	研究員	2nd Challenges in Computational Biology: Gene Expression Data Analysis	ドイツ	12/01～ 12/02
14	横田 明日美	京都大学医学部附属 病院	研究員	58th ASH Annual Meeting & Exposition	米国	12/03～ 12/06
15	青木 智広	名古屋大学大学院医 学系研究科	大学院生	58th ASH Annual Meeting & Exposition	米国	12/03～ 12/06
16	山崎 翔	東京大学医学部附属 病院	特任臨 床医	58th ASH Annual Meeting & Exposition	米国	12/03～ 12/06
17	佐々木 東	北海道大学大学院獣 医学研究科	助教	22nd European Symposium on Ultrasound Contrast Imaging	オランダ	01/19～ 01/20

(3) 第 28 回(平成 29 年度開催)学会等開催助成(15 件)

(30 万円または 20 万円)

	大会名	主催団体名	申請者	日程	開催場所	助成額 (万円)
1	生物リズム若手研究者の集い 2017	生物リズム若手研究者の集い	京都大学 大学院生命科学研究所 分子代謝制御学 遠藤 求	08/05 ～ 08/06	国立遺伝学研究所	20
2	第 57 回 生物物理若手の会 夏の学校	生物物理若手の会	東京大学 大学院総合文化研究科 広域科学専攻生命環境科学系 新井研究室 岡 芳樹	08/29 ～ 09/01	国立オリンピック記念青少年総合センター	20
3	第 57 回 生命科学夏の学校	生化学若い研究者の会	東京大学 大学院理学系研究科 生物科学専攻 内藤 里佳	09/01 ～ 09/03	白浜荘 (滋賀県)	20
4	第 15 回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラム (PPF2017)	日本薬学会 物理系薬学支部会	金沢大学 新学術創成研究機構 革新的統合バイオ研究コア・創薬分子プローブ研究ユニット 小川 数馬	09/04 ～ 09/05	石川県青少年総合研修センター	20
5	第 10 回脳科学若手の会合宿	脳科学若手の会	東京大学 大学院理学系研究科 生物科学専攻 加藤 郁佳	03/10 ～ 03/11	首都圏内ホテル	20
6	第 11 回 日本エピジェネティクス研究会年会	日本エピジェネティクス研究会	理化学研究所 主任研究室 群 眞貝細胞記憶研究室 眞貝 洋一	05/22 ～ 05/23	一ツ橋学術総合センター	30
7	18th International Symposium on the Biology of Actinomycetes	International Symposium on the Biology of Actinomycetes	日本大学 生物資源科学部 応用生物科学科 上田 賢志	05/23 ～ 05/27	済州島 (韓国)	30
8	第 40 回日本バイオレオロジー学会年会	日本バイオレオロジー学会	川崎医療福祉大学 医療技術学部 臨床工学科 望月 精一	05/27 ～ 05/28	川崎祐宣記念講堂 (岡山県)	30
9	第 19 回 日本 RNA 学会年会	日本 RNA 学会	富山大学 大学院理工学研究部 (理学) 化学専攻 生体機能科学講座 井川 善也	07/19 ～ 07/21	富山国際会議場大手町フォーラム	30
10	第 32 回日本放線菌学会大会	日本放線菌学会	信州大学 工学部 生命科学研究室 片岡 正和	09/07 ～ 09/08	若里文化ホール (長野県)	30
11	第 59 回 天然有機化合物討論会	天然有機化合物討論会 実行委員会	北海道大学 大学院薬学研究院 創薬科学研究教育センター 有機合成医薬学部門 市川 聡	09/20 ～ 09/22	札幌市民ホール	30
12	第 14 回国際バイオミネラルゼーションシンポジウム	第 14 回国際バイオミネラルゼーションシンポジウム組織委員会	東京大学 大学院農学生命科学研究科 生物有機化学研究室 長澤 寛道	10/09 ～ 10/13	つくば国際会議場	30
13	第 11 回 次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム	日本薬学会 医療薬科学支部会	滋賀医科大学 医学部附属病院 薬剤部 森田 真也	10/21 ～ 10/22	京都薬科大学	30
14	「細胞を創る」研究会 10.0	細胞を創る研究会	京都大学 iPS 細胞研究所 未来生命科学開拓部門 細胞制御システム工学分野 齊藤 博英	10/30 ～ 10/31	京都大学	30
15	質量分析インフォマティクス・ハッカソン	質量分析インフォマティクス研究会	京都大学 化学研究所 バイオインフォマティクスセンター 吉沢 明康	11/20 ～ 11/22	関西地域のホテルまたは大学	30

平成 28 年度「事業報告の附属明細書」について

平成 28 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する”事業報告の内容を補足する重要な事項”がないので附属明細書を作成しない。

以上